

ホームページへの掲載	
済	月 日 掲載

岐阜県立山県高等学校

学校長 伊藤 崇
学校住所 岐阜県山県市中洞44-1 電話 0581-52-1551

- 1 会議名 岐阜県立山県高等学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和元年10月25日(金) 11:00~13:00
- 3 開催場所 岐阜県立山県高等学校 校長室
- 4 参加者
委員 亀山 雅之 1期目
九野 隆浩 1期目
藤木 節子 1期目
前田 恵津子 3期目
廣田 直子 PTA会長

学校側 伊藤 崇 校長
伏見 圭太 教頭
磯部 典之 事務長
山田 智徳 教務主任
中谷 長史 生徒指導主事
山本 通広 進路指導主事
岩井 憲司 特別活動部長
- 5 会議の概要
11:00 学校長挨拶
学校評価アンケート結果について
各分掌による中間報告
意見交換

12:00 山高祭参観

(1) 学校長挨拶

今年の学校祭は1日半の日程となった。会議後、展示を皆さんにも見ていただきたい。学校の様子としては、とにかく工事が続いた。エアコンの取り付け工事は6月に終了。その後、外壁の塗り替え、トイレの改修、屋上の看板の塗り替えが行われ、現在は防水工事が続いている。1年生は単位制としてスタートしたが、次年度は類型による選択制となる。目玉は工業類型となるが、2年次はデュアルシステムとして週1日企業で実習を行い、3年次は国際たくみアカデミー、東海職業能力開発大学校等で週1日実習を行う。福祉類型でも資格取得できる科目が設定できないか検討中である。

(2) 学校評価アンケート結果について

全体的な評価結果は、非常に良かった昨年に比べ下がっている。今年は一昨年に戻った感がある。連絡文書、ホームページ等の項目については評価が低くなっている。家庭との連携を強固にするとともに、魅力ある情報発信をしていきたい。評価結果については真摯に受け止め、課題の改善に努めていきたい。

(3) 各分掌長による中間報告

教務部より

- ・学校評価アンケート結果に照らし合わせて報告したい。学習指導についての質問に選択授業・少人数指導があるが、保護者・生徒いずれも高い評価であった。能力に応じた指導についての評価は、微減であった。今後の教務部としての課題は、来年度から本格実施する類型ごとの選択授業をこれからどのように進めていくのか、その具体的な体制の構築が課題である。

生徒指導部より

- ・生徒の実態が多様化し、通常の指導が難しい生徒に対応するために、生徒指導の在り方をカウンセリングマインドを基軸とした「対話を重視」する指導に切り替えた。その結果、6月後半頃から多数の生徒が訪ねてくるようになった。これらの生徒はこれまで教員との衝突が多かった3年生の生徒が中心である。彼らとの対話を通じて、これまで反目していた彼らが少しずつではあるが落ち着いてきた。机の上の折り紙は(見本を示しながら)、よく来る3年生が生徒指導室で静かにおり続けたものである。

進路指導部より

- ・特別面接指導には、生徒も緊張感をもって取り組めたと思う。レジュメの表は10月18日現在のものである。進学についてはこれからである。大学・短大はAOでの合格者数で、指定校推薦はこれからが本番となる。就職者数は今後少しずつ追加されるものと思われる。

特別活動部より

- ・これまでの活動として美山中学と一緒に、地域清掃ボランティアや「みやま祭り」に参加した。今回の文化祭は1日半となったが、あまり注目されなかった文化系部活動の発表を盛り込んだ。参加クラスは少なくなったが、昨日のステージ発表のダンスは大いに盛り上がった。

事務部より

- ・工事については1月頃まで続く。これからもよい環境を作っていきたい。

(4) 意見交換

意見 1

- ・小・中学校では、教育相談担当や支援員などが生徒の話を聞いてガス抜きをしていたりするが、山県高校ではそういった立場の人はいないのか？

→ 教育相談係が2人、支援員が1人いる。また、SC2名が月に1回ずつ、精神科医が月に1回来校する。

意見 2

- ・自分が体育会系なので、部活動を通して学ぶことが多かった。現在部員はどれくらいか？

→ 野球部2人、男子バスケ部15人、男子テニス部15人、女子バスケ部2人、女子バレー部1人、女子テニス1人で、女子の加入数が少ない。

意見 3

- ・野球部が1~2人というのは、以前を知っているのが残念だ。しかし、全国的に部活加入率が減ってきているのは知っている。その一方で文化系部活動がコツコツ活動しているのは生徒自身も誇りとしてよい。現在勤める大学でもそうだが、自己肯定感を持ってない生徒が多い気がする。先日面接指導をした際、生徒はとても素直でいい子だが、やはり自信なさげである。先生たちが手をかけて声掛けしていく中で、生徒は良くなっていくのではないかと。少しずつ、あきらめずに取り組んでほしい。

意見 4

- ・現在、児童員、スポーツクラブの指導員という立場で、小さな子供たちの面倒を見ている。すると、ここでもいろんな子供や保護者がいるので、特別な支援が必要な生徒についてはその原因も含めてよくわかる。本来小さなうちから支援しなければならない子供が、親の無関心などで、そのまま高校生になっているため、苦労されていることと思う。しかし、それでも支援は必要と考え、折り紙を用いて、生徒の居場所を作り、話をきくという取り組みをなされていることに感動した。今後も頑張ってもらいたい。生徒が自分の苦しさを訴える環境を整えることは、とても大切だと考えられる。中学校では市町の保健師が「SOSを言っているんだよ」ということを話したりもしている。部活動の件では、中学校あたりでも加入率が下がっているなど、同様の傾向がある。今後は部数についても考える必要があるように思われる。

意見 5

- ・2人の子どもが山県高校にお世話になっている。それぞれに合わせた対応をしていただき、ありがたさを感じている。また、学校のバザーという、親が学校に関わり、学校の行事に参加するという姿を子供に見せられる場を設けていただいているのは、子供にとっても親にとってもありがたいことだと感じている。

(5) 山高祭参観

教頭の案内で、山高祭の展示・イベント部門の各所を参観する。

6 会議のまとめ

校長より

部活動については、今後、統廃合を含めた検討をしていくつもりです。学校祭はかつて若い先生が頑張っていたが、現在は全体として下火になってきている。この会議では、本校の取組に対してご理解いただきありがたく存じます。感謝申し上げます。